

8月1日 バイキングの日

1958年帝国ホテルで日本初のビュッフェ方式のレストラン「インペリアルバイキングサール」がオープンしたことにちなんで、2008年帝国ホテルがバイキングの日を制定しました。

欧州の一部や北欧などでは「スモーガスボード (smorgasbord)」と呼ばれる食べ放題の食事方式を、1957年帝国ホテルの支配人だった犬丸徹三が北欧で体験し、取り入れることを考え付きました。

スモーガスボードという名前は、覚えにくいので、北欧＝バイキングという連想から、食べ放題のビュッフェ方式を「バイキング」と名づけたそうです。

当時帝国ホテル脇の日比谷映画劇場で上映されていた『バイキング』(1958年)という映画の中の豪快な食事シーンが印象的だったこともあります。

日本ではビュッフェ(ブッフェ)のことを「バイキング」と呼ぶのが一般的ですが、これが通じるのは、ハワイとか日本人観光客を対象にした一部の地域、レストランだけです。最近では、「サラダバー」とか「ドリンクバー」などという名称で、食べ放題、飲み放題を提供することもありますね。

ホテルの朝食がバイキングになっているのは、コスト管理と言われますが、これは一定数以上の宿泊者(利用者)があるときで、宿泊者が少ないときにはバイキングにはしないと某ホテル関係者に聞いたことがあります。

さて、元祖バイキング料理、帝国ホテルの「インペリアルバイキングサール」の料金はと言えば、朝食で3400円、平日ランチ5300円 ディナー(土日祝)8400円だそうです。

さすがのお値段ですが、優雅なひと時を楽しんでみたいですね。食べすぎには、注意ですけど……。

8月2日 博多人形の日

博多人形商工業協同組合が博多人形誕生400年を記念して2000年に制定しました。「は(8)かたに(2)んぎょう」の語呂合せです。

1600年黒田長政が筑前福岡藩に入国し舞鶴城建築の際、多くの職人が集められました。

その中で、鬼瓦の細工物から焼き物作りの技法を学んだ正木宗七が城の瓦を焼いた余技に残りの土で人形を焼き、藩公に献上したのが起りとされています。

当時の人形は、彩色もなく型を使わない手びねりの素朴なものだったようです。

正木家は以後、代々藩の御用焼物師としておもに実用品製作の家業を受け継ぎ、文政年間4代目宗七のとき親交のあった人形師、中ノ子吉兵衛が宗七焼の陶芸の技法を生かして土人形を製作しました。

それが今日の博多人形の始祖と言われており、その頃、初めて彩色人形が現れています。

明治時代には、パリの国際博覧会で高い評価を受け、日本を代表する人形として『博多人形』の名で知られるようになりました。そして1971年人形の部では全国初の『伝統工芸品』に指定されています。

陶器のお人形と言えば、ドレスデンやマイセン、ロイヤルコペンハーゲン、リヤドロなど素敵なものがたくさんあります。でも日本人が、こうしたものに惹かれるように、外国の人が「博多人形」に惹かれるのか、お土産品として人気があるようです。

博多人形と言えば、色白美人の和服の人形というイメージがありましたが、武者人形や仏様、童子などの素敵な作品もたくさんあります。またオリジナルや、誰か大切な人にそっくりな博多人形を作ってくれるサービスもあるようです。

物言わぬ人形ですが、すばらしい作品は、温かみや優しさが感じられるようです。共感したり癒しを感じたりする作品に出会ったら買ってみたい気がしますね。

8月3日 はちみつの日

誰が考えても、8月3日は蜂蜜の日で異存はなさそうです。ちなみに3月8日はミツバチの日です。

ブラウンは、蜂蜜入り焼き饅頭とうたうように、生地に蜂蜜が入っています。生地は甘く感じるほどではありませんが、蜂蜜を入れることでしっとり、まろやかに仕上がっています。

蜂蜜は人類が初めて使用した甘味料といわれ、スペインのアラニア洞窟には、採蜜する人の壁画が描かれており、紀元前1万5千年ごろには、すでに人類は蜂蜜を食べていたことが分かります。

その後、養蜂の方法が考え出され、日本では643年に百済の太子余豊が大和三輪山で養蜂した記事が「日本書紀」に記されています。当時はおもに神様への捧げ物や薬用として用いられていたようです。

近代的な養蜂は1853年、アメリカ合衆国のラングストロスが開発し、可動式巣枠を備えた巣箱や、蜜を絞るための遠心分離器が発明されて、今にいたる養蜂技術が確立されました。

日本では、明治に入って養蜂のための西洋ミツバチが導入されてから、養蜂が盛んに行われるようになりましたが、一般にはなじみの薄い食べ物だったようです。

実は現在でも、蜂蜜をよく利用する人は少なく、ホットケーキやパン、ヨーグルトなどにかけるなどの使い方しか思い浮かばないって人がほとんどかも。しかも、蜂蜜ってネバネバなのに、すぐ固まってしまって使いにくいですよね。しかも、純粋の蜂蜜って高いし！

蜂蜜が固まるのは5～14度と言われているので、保存は室温で。出来るだけ暗いところに置くようにしましょう。殺菌力に優れた、純粋な蜂蜜は20年経っても食べられると言われるほどです。

(市販品は記載の賞味期限に従いましょう。添加物があるかもしれません) 逆に冷凍室に保管すると固まらないようです。

固まりにくいのはアカシアの蜂蜜、パンくずや水滴が混じるとカビが生えたり、品質が低下したりしますので気をつけて！

二日酔い、口内炎、疲労回復に効果があり整腸作用もあって、砂糖よりカロリーが低くビタミンも豊富で多くの効能が知られています。

ここで、おっちゃん お奨めのレシピ

#### 豆乳バナナ

- ・ 豆乳.....200cc (大豆まるごと豆乳\*がお奨め)
- ・ バナナ..... 1本 (夏なら凍らせたものが good)
- ・ はちみつ.....大さじ1～2 (お好みで)

作り方は、材料をミキサーにかけて攪拌するだけ。

#### 豆乳ラッシー

- ・ 豆乳.....200cc
- ・ ヨーグルト.....100cc
- ・ レモン汁.....大さじ2
- ・ はちみつ.....大さじ2～3

こちらも混ぜるだけ

繊維質がたっぷり、豆乳のおかげで満腹感もあります。一度お試しください。お好みで、量は加減してくださいね。

8月4日 ビアホールの日

1899年東京・銀座に、日本麦酒醸造株式会社（現在のサッポロビール）が「恵比寿ビアホール」を開店しました。日本で初めて「ビアホール」の名称が使われたことを記念して、エビスビヤホールの後身である銀座ライオンが制定しました。

日本で最初のビール酒場は、この2年前に大阪で大阪麦酒株式会社（現在のアサヒビール）が開店しています。

ビールの本場ドイツには中世からビア・ハレ"Bier Halle"と呼ばれるビール酒場がありましたが、英語で **beer hall** という言葉は存在しないため、ビアホールは和製英語なのです。

カウンターを設けニッケル製のスタンドを作り、床はリノリウム張り、イスやテーブルはビールの樽材でつくら

れ、また酒器はガラス製のジョッキで、当時としては極めてモダンな店だったそうです。

当時はビール 500ml が 10 銭で販売されたそうです。当時は、もりそば 1 枚、コーヒー 1 杯が 2 銭、食パンが 5 ~6 銭程度といますから、今の感覚からすれば、1500 円 ~ 2000 円ぐらいでしょうか。

ちょっと高い気もしますが、1 日の来客数は平均 800 人、遠方から馬車でやってくる人もいたそうです。この繁盛ぶりにあやかっ、このホールというのを使った「ミルクホール」とか「ラムホール」というのが流行したそうです。

ところで、ビールと言え、1853 年頃川本幸民が初めてビールを試醸し浅草の曹源寺で試飲会を開催したのが、最初といわれています。その後、各地に醸造所ができ一般に普及しましたが、江戸時代のはじめには、すでに幕府のお役人たちはその存在を知っていたと記録が残っているようです。

しかし、暑いときには、冷たいビールがいいですね。朝から恐縮ですが、今日は日曜日、お仕事のない方は、せみ時雨を BGM に 1 杯いかがですか？

8 月 5 日 1900 年壺井栄が生まれました。

小豆島の樽職人の家に生まれますが、蔵元が倒産したために幼少から他家の子守をするなど苦勞しながら小学校を卒業しました。

村役場や郵便局に勤めながら文学書を読み、後に夫となる壺井繁治を頼って上京しました。

プロレタリア作家に影響を受けながら、1938 年処女作「大根の葉」を発表しました。その後随筆、児童文学など 1,500 点もの作品を書いています。

特に有名なのが「二十四の瞳」で 1954 年に木下恵介監督によって映画化されると、小豆島が観光地として盛況となり、内海町（現在の小豆島町）の名誉町民となりました。

1987 年に朝間義隆監督、田中裕子主演で映画化された「二十四の瞳」のために作られたオープンセットを改築して、小豆島に二十四の瞳映画村が作られました。

木造校舎、男先生の家、漁師の家、茶屋、土産物屋などがあります。また、壺井栄文学館には、生前壺井栄が愛用していた調度品や各作品の生原稿などが展示されています。

何回も映画やテレビドラマになっている「二十四の瞳」は、時代は変わっても、人々の琴線に触れるものがあるのだらうと思います。

大石先生と 12 人の子供たちのふれあい、それぞれの子供たちの性格や生き様、先生の優しさを、自分の子供時代に重ねてみたり、元気付けられたりするのかな・・・。

もう一度、子供の頃よんだきりの二十四の瞳を読み返して、村の分校を訪ねてみたくなりました。

8月6日 1932年第1回ヴェネツィア国際映画祭が開催されました。

イタリアのヴェネツィアで、毎年8月末から9月初旬に開催される映画祭で、カンヌ国際映画祭・ベルリン国際映画祭と並ぶ世界三大映画祭のひとつです。

国際美術展であるヴェネツィア・ビエンナーレの1部門として映画部門が始められ、国際映画祭としては最初とされています。戦前は最高賞が「ムッソリーニ賞」でしたが、今は金獅子賞になっています。

ヴェネツィア国際映画祭で快挙と言えば、1982年の50周年記念行事で歴代グランプリ作品中最高の作品「獅子の中の獅子」栄誉金獅子賞に黒澤明監督の『羅生門』が選ばれたことでしょう。金獅子賞を受賞した日本の映画は、黒澤明監督の『羅生門』、稲垣浩監督『無法松の一生』、北野武監督の『HANA-BI』です。

今年8月28日から9月7日まで開催の第70回ヴェネツィア国際映画で、コンペティション部門の審査員を音楽家の坂本龍一さんが務めるそうです。またコンペ部門に宮崎駿監督の「風立ちぬ」が出品されます。さて、戦争の時代を扱っていますが・・・世界の評価はどうなるのでしょうか？

三大映画祭が、どうも、ごちゃごちゃになってしまう・・・と言う方のために。カンヌ国際映画祭の最高賞は「パルム・ドール」今村昌平監督が1983年『楢山節考』、1997年『うなぎ』で2冠を獲得しています。ベルリン国際映画祭の最高賞は「金熊賞」。2002年宮崎駿監督『千と千尋の神隠し』で受賞しています。

世界各国の映画祭で、FIAPF（国際映画製作者連盟）が公認しているものは52あります。映画祭は映画の振興と発展、すぐれた作品を顕彰し、広報することが目的です。多くの映画が紹介されて、全部を見ることは不可能ですが、人生の機微を2時間程度でいろいろ教えてくれる映画って、いいものですね。岡山には、自主制作映画のための「岡山映画祭」があり、隔年で開催されています。

8月7日 バナナの日

紀元前5千年~1万年ごろ、偶然できた種のないバナナの苗を栽培したのが現在のバナナの始まりといわれています。マレー半島が原産でミャンマー、インド、アフリカ、中南米へと広がっていったようです。

日本へは1903年4月10日台湾から神戸港に向け7かごのバナナ（約75kg）が移入されたのが最初とされています。台湾からのものは国内扱いだったので、輸入ではなかったようです。大正時代になるとセリによって流通するようになります。

台湾から移送するうちに熟して、その後の輸送に耐えられなくなったバナナをなるべく早く換金するために、中継港であった門司港の棧橋通りで露店商が人を集めてバナナを売りさばいたのが、門司のバナナのたたき売りの始まりだそうです。

大正末期から昭和にはじめにかけて、バナナは庶民の口にも入るようになり、1937年には輸入量が14万トンを超えました。がその年から日中戦争が始まり、次第にバナナは軍用になり、また庶民には手の届かないものとなっていきました。

バナナの輸入が再開されるのは、戦後1950年ですが、輸入制限措置のためにとっても貴重な果物でした。1963年、バナナの輸入が自由化されました。輸入自由化をきっかけに、輸入量が1位になったのは南米エクアドル産バナナでした。それが3年後にはフィリピン産が追い越し、現在では総輸入量110万トンのうち103万5千トン(93%)をフィリピン産が占めています。

バナナは青いうちに保冷船で輸入され、室に入れてエチレンで熟成させることは知っていましたが、黄色くなったバナナは植物防疫法の定めにより輸入できないからだったのですね。これはエチレンを外から降りかけて、皮だけ黄色く色づかせる方法なのであまり甘くないのだとか。

バナナの本場でも青いうちに収穫し、しばらく自然熟成してから食べると聞きましたが、こちらの方が断然甘くて美味しいようです。

ところで、バナナを甘くしかも長持ちさせる方法をひとつ。

房になっているバナナを一本ずつに分けて、50度のお湯に5分浸けるだけです。5分お湯に浸けるとバナナの澱粉が糖に変わり甘くなります。お湯から出した後もしばらくは糖度が上がるので、1時間ぐらいいは室温においておきましょう。また1本ずつに分けることで黒くなるのを防ぎます。お試しあれ。

マンゴーやパイアも美味しいけど、安くて、食べやすいバナナはやっぱり果物の王様ですね。ジブリの映画「おもひでぽろぽろ」の中で、パイナップルに盛り上がった家族が思ったほど美味しくなかったと言ってがっかりするシーンがありました。その後で「バナナ、食べよ～」と言うのです。あれ、笑えたんですね。

8月8日 そろばんの日

1968年 全国珠算教育連盟がそろばんの普及とその優れた機能をアピールするために制定しました。そろばんを弾くパチ(8)パチ(8)の音をイメージした語呂合せです。

そろばんは、石を並べて数を数えていたのが始まりと言われていています。それを持ち運び出来るように、板に溝を彫ったものがローマ時代に発明されています。その後、中国に伝わり、日本にも入ってきました。中国語の「スアンバン」が日本語の「ソロバン」に転訛したというのが通説となっています。

昔のそろばんは、天2珠・地5珠、その後、天1珠・地5珠となり、戦後天1珠・地4珠となりました。年配の人の中には天1珠・地5珠のそろばんが使いやすいと言う人がいるようです。「読み書き、そろばん」と言えば教育の基本と言われていましたが、最近は電卓が普及して、そろばんは、ほとんど使われなくなりました。

銀行などに勤めるためには標準以上のそろばん技能が必須でしたが、今ではそんなこともないのに小学校学習指導要領の算数の履修項目には、未だにそろばんが入っています。

なぜかと言えばそろばんは、指先を高速に動かすことや盤面を1つのイメージとして捉えるので、右脳の開発を促すのだとか。また十進法の概念を理解させるための格好の教材だと言われています。

暗算や計算能力を向上させるだけでなく、そろばんを習うことで集中力や忍耐力を養ったり、敏捷さや積極性が

身に付いたりすると言われます。そろばん塾は根強い人気があるようですね。

そろばんに関することわざもいろいろあります。「算盤を弾く」と言えば、損得勘定をすること。「算盤高い」と言えば、打算的でケチなこと。「算盤がもてない」と言えば採算があわない、商売にならないこと。「算盤で錠が開く」と言えば数字をもとにして話せば、万事が確実に解決すること。

また「二進も三進もいかない」と言うのも、算盤用語が元になっていて、2でも3でも割れない、計算が合わない、つまり「商売がうまくいかない」の意味になり身動きが取れないときに使うようになりました。

ところで教育の基本「読み書き算盤」究極の意味は、相手の伝えたいことを正確に読み取り、自分の伝えたいことを正確に表現し、数字をきちんと把握して正確な答えを出すこと だそうです。これは、なかなか難しいです。

寺子屋に戻って勉強しなおさなくては！

8月9日 パクチーの日

昨日ちょうどNHKの番組で、岡山中でパクチー栽培をしている人を紹介していました。黄ニラの連作障害を防ぐために栽培を始めたパクチーを、次の岡山の特産物にするために普及活動をしているそうです。その一環でパクチーアイスを開発したのだとか。どんな味でしょうね。

岡山の土壌にあった、あまりクセのない日本人にも食べやすいパクチーなのだそう。お好み焼きに入れたり、ラーメンや焼きそばに入れたり、カレーのトッピングにしたり、オムレツにしたりと、料理のバリエーションもたくさんあります。

ところで、パクチーというのはタイ語。又の名を「シャンツァイ（中国語）」、「コリアンダー（英語）」、「コエンドロ（ポルトガル語）」「香菜（中国語からきた日本語）」、「カメムシソウ（日本語）」と多くの呼び名があります。最近ではエスニック料理のブーム以降、パクチーが有名になったようです。

ちなみにザウムイ（ベトナム語）、シラントロ（スペイン語）、ダニヤー（ヒンディー語）と多くの国で食べられている野菜です。

パクチーにはデトックス（解毒）作用、食欲増進、疲労回復、血圧降下、健胃整腸、不眠解消、消化促進効果、なんと幸福感促進剤（爽快剤）として用いられたこともあるとか。

幸福感促進剤って、いいんじゃない?! 焼酎に漬けたり、ハーブティーにしたりできるのだとか・・・ちょっと試してみようかな。

8月10日 道の日

1920年8月10日に日本初の道路整備計画が実施されたことに由来します。1986年に建設省が制定しました。

国交省によれば、道路は国民生活に欠くことのできない基本的な社会資本ですが、あまりに身近な存在のため、その重要性が見過ごされがちです。そこで、道路の意義・重要性について、国民の皆さまに関心をもっといただくために制定したそうです。

平たく言えば、道が大切だから、みんなで大切にしましょうと言うことだと思います。ごみを捨てたり、道路を痛めたりしてはいけないということでしょう。

最近では自治体の財政悪化により、道路の管理が出来なくなったため、地域住民が生活道路の工事を行うこともあるようです。

1986年と翌1987年には、道の日の制定を記念して「日本の道100選」が選定されています。全国から特徴のある優れた道路104本を選出しており、岡山からは、本町櫛井線・下町薬師院線（高梁市）と吉備路自転車道（岡山市総社市）が入っています。

道と言えば これですよ。

僕の前に道はない

僕の後ろに道は出来る

ああ、自然よ

父よ

僕を一人立ちさせた広大な父よ

僕から目を離さないで守る事をせよ

常に父の気魄を僕に充たせよ

この遠い道程のため

この遠い道程のため

8月11日 1989年潜水調査船「しんかい6500」が深海の世界記録を樹立しました。

宮城県沖での試験潜航で6527メートルの海底に到達し、世界記録を樹立しました。

1989年に三菱重工業（株）神戸造船所で完成し、支援母船として同時期に「よこすか」も建造されました。しんかい6500はこれに搭載されて調査海域まで運ばれ、潜航時間を8時間と定められた中で探索や研究を行っています。水深6,500mまで潜には、片道で約2.5時間かかるそうです。

しんかい6500は、今年1月より世界一周海底調査「QUELLE2013」を開始し、数々の調査報告や深海からの生中継などの成果をあげています。

しんかい6500の任務は、地震国日本ならではの、地震、地殻を構成するプレートの沈み込み運動、マントル中のブルーム運動など地球内部の動きの調査があります。他にも深海生物の生態系、進化の解明。深海生物資源の利用と保全に向けた調査。海底に堆積した物質、海底熱水系の調査を通じた地球の熱・物質循環の解明などがあります。



現在は中国の深海有人潜水艇「蛟龍号」が記録更新中とされていますが、耐圧殻の実力はしんかい 6500 にはるかに及ばないと言われています。しんかい 6500 の安全性は、2012 年現在通算 1300 回の潜航を数えて一度も事故を起こしていないことが、それを証明しています。

高い水圧がかかる深海を何回も往復する潜水船にとって、日々の点検整備は欠かせません。無事故で潜航調査ができるのはスタッフの不断の努力と安全への妥協のない取り組みのたまものです。潜水船のパイロットは、整備から始め、潜水船の点検や機械の整備を通じてシステム全体を理解しなければ務まりません。

パイロットになるまでには、7~8 年の訓練と経験が必要だそうです。多くの技術やノウハウの継承が日本の輝かしい成果や記録を作っているのですね。

ハヤブサに象徴される宇宙開発もスーパーコンピューター「京」も、研究費用が十分とはいえない中、日本人ながらの器用さと勤勉なマンパワーで補っている気がします。軍事目的ではなく世界の平和、人々の幸せのために開発しているのが日本人だと言うことに誇りを持ちたいものです。

8 月 12 日 1962 年 堀江謙一氏が日本人初の太平洋単独横断に成功しました。

小型ヨット「マーメイド号」で太平洋を横断した堀江謙一氏は、8 月 12 日サンフランシスコに到着しました。1962 年 5 月 12 日に西宮を出港し、94 日間の航海の様子は「太平洋ひとりぼっち」として出版されベストセラーになりました。

同年の菊池寛賞を受賞しています。また翌年には石原裕次郎が堀江青年にふんした映画「太平洋ひとりぼっち」が製作され、大ヒットしました。全長 5・8 メートルのマーメイド号に水 20 リットル、米 40kg、缶詰 200 個を積み込み、船外機なし、帆走のみで大海原に出て、浸水や嵐、幾多の困難を克服した冒険です。

当時の新聞記事を見れば、密出国の大阪青年とあります。当時の法律では、こうした小型ヨットで出国する事が認められておらず、パスポートを持っていなかったそうです。そのためサンフランシスコでは入国を拒否されてもおかしくなかったのに、当時のサンフランシスコ市長は「コロンブスもパスポートは省略した」と尊敬の念をもって受け入れ、名誉市民の称号を与えたそうです。

この冒険に当時の人々が熱狂したのは、初めての成功だったこともあるけれど、それまで太平洋に漕ぎ出すことは、移民とか、艦隊とか、体制とか、戦争とか、講和とか、同盟とか、国家や民族の威信をかけたことだったのを、若者が、あっけらかんとやり遂げたことに対して目からうろこが落ちるような気がしたからかもしれません。

新聞の記事に「髪ボサボサだが元気」の文字も見えます。成功したから、あっけらかんと表現しましたが、危険なことに違いありません。先日、ニュースキャスターの S 氏が太平洋横断に失敗した顛末を聞くと、海上保安庁や海上自衛隊の救助があったとかで、自己責任だけでは完結しない大事だと痛感します。

8 月 13 日 1904 年桂田富士郎が日本住血吸虫を官報第 6337 号に掲載しました。

桂田富士郎氏も日本住血吸虫も、何それ？って感じでしょう。今では知る人も少ない病気ですが、100 年前まで

は田んぼに入った後、皮膚炎ができ発熱下痢を起こし腹水がたまり、終いには食道静脈瘤が破裂し吐血して死んでしまうという原因不明の恐ろしい病気でした。

特に、甲府盆地、筑後川流域、福山市神辺町の片山地区に多発したため風土病といわれ、差別や偏見の原因になっていました。

岡山医学専門学校（現：岡山大学）の病理学教授だった桂田富士郎先生は、この奇病が人間でも家畜でも同じように罹患することに注目し、罹患した猫の肝臓を調べた結果、日本住血吸虫の断片を検出することに成功しました。

その後、この日本住血吸虫が中間宿主「宮入貝（発見者の名前から）」を介することも分かりました。

大正時代に入ってから、生石灰による殺貝事業が行われました。また、田んぼの中に肌を出して入らないように啓蒙しました。そのおかげで、罹患者は減っていきました。ちなみに広島県の統計を見れば、1920年～1988年の罹患者数は11,784人、そのうち亡くなった人は400人以上という高い致命率です。

現在では水路をコンクリートで固め、貝が棲息できないようになり日本住血吸虫は日本では撲滅したと言われていいます。

日本住血吸虫の発見とその生活史の解明は、20世紀の医学で日本人が果たした最も輝かしい業績だと言われますが、現在では忘れられており桂田先生、藤波先生、また神辺の開業医吉田先生などの顕彰もほとんど行われていません。ちょっと残念です。

最近では、マダニにさされて感染症で亡くなる人もいます。自然は満喫したいけれど、野外や水の中、泥の中などは、皮膚を露出した状態で入らないようにしなければいけませんね。

8月14日 1941年、「アウシュビッツの聖者」といわれるマキシミリアノ・マリア・コルベが亡くなっています。

ポーランド人のカトリック司祭で日本でも布教活動をしたことのある「コルベ神父」と言えば、あ～と思われる人もおられるでしょう。コルベ神父が来日したときに、一緒にいたのが「蟻の町の神父」として知られるゼノ修道士です。

コルベ神父は、彼の説くカトリックの教えとナチスの思想が相反するとしてナチスに捕らえられアウシュビッツ強制収容所に送られました。

アウシュビッツで強制労働中、同じ班から脱走者が出て、その連帯責任で見せしめのため10人が処刑されることになりました。無作為に選ばれた10人の中に妻子のことを思って泣き叫んだ者がおり、その人の身代わりとしてコルベ神父が名乗り出ました。

その申し出が受け入れられ、コルベ神父と9人が地下の餓死監房に押し込められました。そこからは帰還することは出来ず、入れられた者は気が狂って、わめき叫ぶそうです。

ところがコルベ神父とともに入った人たちはロザリオの祈りを唱えたり賛美歌を歌ったりしていたそうです。2週間の後、まだ息があった人には死を早める注射を打つことになりました。コルベ神父は自ら腕を差し出し注射を受けたそうです。

ひとりの神父が他人の身代わりになって死んだという噂は収容所に広まり、戦後、英雄として語られていきました。1982年10月17日、教皇ヨハネス=パウルス2世により、「愛の殉教者」として聖人の列に加えられました。

他人の身代わりになるなんて、どんな気持ちなのか想像もできないが、コルベ神父は1937年1月10日、日本で布教しているとき、聖母マリアから「確実に天国に行ける」という約束を受けたと仲間の修道士に打ち明けていることから、死ぬことに躊躇いがなかったのでしょうか。それにしても……

8月15日 1901年 与謝野晶子の歌集『みだれ髪』が発刊されました。

晶子が雑誌「明星」に投稿した作品を集めて作られた歌集で、与謝野鉄幹が編集しています。流行のアール・ヌーヴォーを取り入れた藤島武二の表紙がなかなか斬新です。当時は結婚前で「鳳（ほう）晶子」の名前で出版されており、この年10月1日与謝野鉄幹と結婚しました。

女性の恋愛や、自我の主張など認められない時代に晶子の自由な表現は、多くの批判もあったようですが、才能を認める与謝野鉄幹は積極的に「明星」への投稿を薦めていました。鉄幹には、才気にあふれ、自由な思想を持つ晶子が新鮮に映ったに違いありません。

当然「みだれ髪」が発行されると、ストレートな恋愛感情や官能的な部分などがあり「人心に害あり世教に毒あるもの」とまで評されました。

不倫のち結婚したことも世間の注目を集めました。よくも悪くも「明星」は発売部数を上げ、大阪の無名の女性歌人を一躍文壇に押し上げ若い読者を魅了したことには違いありません。

女性活動家としても名を馳せる晶子ですが、生活全般にセンスがよく潔い暮らしぶりだったようです。改めて与謝野晶子に興味を持ちました。

8月16日 1960年ジョゼフ・キッティンジャーが気球による最高高度 31,300m からパラシュート降下に成功しました。

この実験により最高気球高度・最高パラシュート降下開始高度 31,330 m、最長ドロッグシュート降下時間 4.5 分間、乗り物を使わない最大大気中速度 988 km/h が樹立されました。

このうち降下開始高度・最大大気中速度の2つは、2012年10月14日にレッドブル・ストラトスでフェリックス・バウムガルトナーに破られるまで世界記録でした。

ところでバウムガルトナーがダイビングに挑戦した様子をNHKの世界のドキュメンタリーで放送していました。その中でいまだに元気でバウムガルトナーを支えているジョゼフ・キッティンジャーの姿も目にしました。

キッティンジャーは空軍基地の航空宇宙医療調査研究所で高高度緊急脱出の研究を目的とする「プロジェクト・エクセルシオ」の一環として超高空パラシュート降下の実験を行いました。

成層圏から人間がダイブして、どんな危険があるのか誰も分からない中での実験で、科学的に考えられるすべての危険に対応する準備を整えましたが、それでも想定外の出来事で命を失うかも知れません。

バウムガルトナーの番組でも、飛び降りたときに体が回転して、手足に通常の何十倍もの重力がかかるのが大変危険なので、対処に苦慮しているシーンが印象的でした。まるで地球や宇宙には、どうやっても人間はかなわないのだと思い知らされているような感じでした。

ジョゼフ・キッティンジャーの最初のダイブは、途中で意識を失って、あわやの大惨事となるところでしたが、幸い自動開傘器により無事生還できたそうです。

また3回目では、手袋の故障で気密が保てず、右手に過剰な圧力がかかり激痛で使えなかったそうです。それでも、成功を収めることが出来たのは、強い精神力と強靱な肉体、成功を願う気持ちがあったからですね。

宇宙開発や航空機の事故などを想定した実験には違いありませんが、なんでこんなことまで・・・とってしまいます。命を懸けて実験に挑戦する人がいるからこそ科学の進歩があるのですけれど。

8月17日 1945年インドネシアがオランダからの独立を宣言しました。

その後オランダと独立戦争を戦った結果、1949年にオランダからの独立承認を得ています。このインドネシアの独立には日本が大いに関与しています。

インドネシアは350年もの長い間、オランダによる愚民政策によって支配されていましたが、1942年日本軍がオランダを追い払い、人々に教育を施し、宗教の自由を認め、そしてインドネシアの指導者をオランダから奪還しました。

その中に初代大統領となるスカルノがいました。日本軍は、彼らを指導者として1945年8月19日にインドネシアを独立させる方針をとっていました。しかし1945年の日本の敗戦で独立が反故にされることを恐れたスカルノらは8月17日独立宣言をしました。

その後のインドネシア独立戦争で義勇兵となった旧日本兵は2000人以上にも及びました。その中に宮原永治さんがいます。独立戦争終結後も日本に帰らず、インドネシア国籍を取得し、名前もウマル・ハルトノ・ミヤハラというムスリム名を名乗っています。

インドネシアには、古くから伝わる「ジョヨボヨ王の予言」(12世紀前半、東ジャワのクディリ王国のジョヨボヨ王が書き記したバラタユダの一説)、という伝承があったそうです。

「我らが王国は、白い人びとに支配される。彼らは離れたところから攻撃する魔法の杖を持っている。この白い人の支配は長く続くが、空から黄色い人びとが やってきて白い人を駆逐する。この黄色い人びとがいるのは、トウモロコシが育つと同じくらいの期間だ」 日本軍がやってくることを予言しているかのよう です。

大東亜共栄圏と言えば、日本がアジア各国に侵略していった悪いイメージが先行しますが、インドネシアでは、自分たちの独立を進めてくれたと考える人が多いようです。台湾以上に親日の人が多いのがインドネシアです。

戦争の時代のこと、略奪や横暴なこともしたかもしれませんが。しかし、インドネシア独立戦争を戦った軍人や国家に多大な功績を残した政治家などが特別に埋葬 される国立墓地カリバタ英雄墓地に27柱の日本軍兵士も含まれていることを考えれば、いくらかは貢献していると考えてもよいのではないのでしょうか。

昭和天皇の玉音放送の中に「朕ハ帝國ト共ニ終始東亞ノ解放ニ協力セル諸盟邦ニ對シ遺憾ノ意ヲ表セサルヲ得ス」というくだりがあります。その御心を果たしたのが宮原さんをはじめとする 2000 人もの旧日本軍の義勇兵と言えましょう。

8月18日 1750年アントニオ・サリエリ が生まれました。

イタリアの作曲家で16歳からウィーンに住み、流麗な作風のオペラで名声を博しました。宮廷楽長の要職にあり、主要作品に『ベネチアの定期市』など四十数曲のオペラがあります。

ベートーベンやシューベルト、リストの先生としての功績も大きいのですが、とりわけモーツァルトと対立した人とか毒殺した人として映画や戯曲に取り上げられて、名前が知られるようになりました。

実際は、当時の音楽界がイタリア派とドイツ派の対立があったため、宮廷楽長を長年独占して来たイタリア人サリエリが標的にされたと言われ、モーツァルト自身が「ウィーンで自分が高い地位に付けないのはサリエリが邪魔をする為」と主張していたそうですが、モーツァルト殺害などの事実はないようです。

当時の複雑な音楽界の状況と神童モーツァルトの才能を惜しむ人々の気持ちが、フィクションとして描かれて悪役となってしまったのがサリエリなのかもしれません。まあ、日本で言えば、赤穂浪士と吉良上野介と言ったところ？！

21世紀に入ってから音楽家として再評価されており、2003年に歌手チェーリア・バルトリがアルバムを出し、2009年からは生地レニャーゴでサリエリ・オペラ音楽祭が開催されているそうです。

映画「アマデウス」では神経質で陰険な感じだったサリエリですが、音楽の才能は一流です。今ひとつ脚光を浴びていませんが、改めてCDを聴いてみたいと思います。

8月19日 俳句の日

1991年正岡子規研究家の坪内稔典氏らの発案で制定されました。「は(8)い(1)く(9)」の語呂合せで夏休み中の子

供達に、俳句に親しんで興味を持ってもらうのを目的としています。

とは言っても、夏休みの宿題でいきなり俳句を考えて来いといわれても困りますよね。

おっちゃんも、俳句を勉強したわけではないから、入選した投稿の俳句を見ても、先生と言われる人が詠んだ俳句を見ても、意味が分からないものあれば、これはいい！と思えるもの、いろいろあります。俳句がいいかどうかは、直感だけです。

日本独自の、世界で一番短い詩。しかもそこに季節感を読み込むのがルールなんて凄いです。四季と豊かな自然があって、日本人ならではの感性があってこそ。苦手な俳句の宿題も、日本文化の継承だと思って、なんとかやりとげなくてはなりませんね。

8月20日 1945年五味太郎さんが生まれました。

例の「きびだんご」のイラストで知られるイラストレーター、絵本作家です。工業デザインの世界から絵本の創作活動に入り、ユニークな作品を数多く発表しています。

絵本作家としてのデビューは1973年「みち」。現在までに450冊以上の作品を手がけています。絵本以外にも作詞やエッセイも書いています。

2000年には自伝的エッセイ「ときどきの少年」で第22回"路傍の石賞"を受賞しています。

「きびだんご」のパッケージは、お土産物を超え、日本中の子どもたちに食べてもらえるお菓子として育てたいと考えたことから五味太郎さんにパッケージデザインを依頼したそうです。

岡山と言えば「きびだんご」と言うのは、日清戦争のとき、山陽線を使って広島や下関にやってくる兵隊さんにお土産として売ったのが全国に広まったのだと聞いたことがあります。お土産としてでなく、こどもたちに夢のあるおやつにと考えたのが、五味太郎さんのパッケージだったのですね。

「子供に与えるものなら、手を抜かない」のが五味太郎さんのポリシー。仕掛け絵本のような、かわいらしくて楽しいパッケージが出来あがっています。しかもお値段も手ごろ。バリエーションもあって、ついたくさん買ってしまいます。

こんなところで、ライバル(?)を宣伝してどうなんよ?!って感じですが、お客様の喜ぶところが見たいのは、おっちゃんも同じです。

8月21日 1973年 野口健さんが生まれました。

野口健さんは登山家で環境問題に取り組み、子供達と環境について考える催しをしたり清掃登山をしたり、また海外で戦没した遺骨収集活動にも取り組んでおられます。

登山家という肩書きよりアルピニストと紹介されることも多いのですが、アルピニストとはアルプス登山者のこ

と、転じて特に、高度な技術を要する登山を行う 人のことを言います。野口さんは、1999 年 25 歳の時に七大陸最高峰の最年少登頂を達成しているまさにアルピニストなのです。

ところで野口さんは、岡山ゆかりの橋本龍太郎氏を父のように慕っていたそうです。登山の仲間でもあったそうで橋本氏の秘書をしていた総社市の片岡市長とも知り合いました。

その縁で総社市は野口さんを環境観光大使に向かえ、環境教育の指導を仰いでいます。野口さんは毎年総社市の小学校を訪れては、子供たちと環境問題を考えたり清掃活動をしたりしているそうです。

野口さんが取り組んでいる遺骨収集の寄稿記事のなかで、海外戦没者は約 240 万人、そのうちの半数が未だに帰還を果たせていないと記されていて驚きました。しかも、日本では遺骨収集が遅々として進まず、しかも国家予算も非常に少ないとのこと。また国民の関心も低いことも残念に思っておられます。

野口さんはエベレスト登頂の際、悪天候に見舞われて命を危機を感じたとき、祖父から聞かされていたインパール作戦に参加した兵士が死んでいく話を思い出したそうです。

「ここで死んだとしても、せめて遺体は祖国につれて帰って欲しい」自分がそう思ったのと同じように、兵士たちも日本に帰りたかったろうと思ったそうです。それで遺骨収集に取り組むことを決意したのだとか。

遺骨収集とか戦没者の英霊とか言えば、戦争賛美のように誤解する人もおられるが、決してそうではなく、その時代を精一杯生きた先人を誇りに思っこの活動を続けたいと語っておられます。遺骨収集は他人事、関係ないことと思いがちですが、ちょっと関心をもつべきと思いました。

8 月 22 日 1851 年イギリスのワイト島一周ヨットレースでアメリカの「アメリカ号」が優勝しアメリカスカップの始まりとなりました。

日本ではほとんど知られていないヨットの国際レースですが、世界的には、ヨットレース全般、あるいはインシヨア（沿海）レースの最高峰として位置づけられています。

このレースはロンドンで開催された第 1 回万国博覧会の記念行事としてロイヤル・ヨット・スコードロンが主催したもので、アメリカからただ 1 艇参加した「アメリカ」号が優勝し、ビクトリア女王から下賜された銀製の水差し状のカップを自国に持ち帰ったことから **America's Cup** と呼ばれるようになりました。

その後「アメリカ」号のオーナー達は、「カップの保持者は、いかなる国の挑戦も受けねばならない」ということを記した贈与証書（Deed of Gift）とともに、このカップをニューヨーク・ヨットクラブへ寄贈しました。

その後 1870 年第 1 回「アメリカスカップ」が開催されることになったのです。多くの富豪がヨットを仕立てアメリカに挑みましたが、アメリカは 1983 年に初めて敗れるまで 132 年間に亘ってカップの防衛に成功しています。

日本からは 1992 年・1995 年・2000 年の 3 回参加しましたが、いずれも予選であるルイヴィトンカップで 4 位

となり決勝に出場できていません。決勝は前回のディフェンディングチャンピオンと予選のルイヴィトンカップで優勝した挑戦艇の一騎打で勝敗を決めます。

日本は島国であるにもかかわらず、ヨットレースはあまり盛んとは言えませんね。ヨットハーバーの整備も外国に比べればお粗末で、とにかくヨットレースにはお金がかかります。しかもビジネスに直結しない……。カーレースが自動車の性能のよさを宣伝し知名度や売り上げを伸ばすのとは違うようです。そういう意味では、日本人は堅実でシビアな現実主義者なのかもしれません。

今年はレースが行われる年で、予選ルイヴィトンカップは2013年7月13日～9月1日、最終戦は2013年9月7日～22日に行われます。1995年以来久しぶりにアメリカ合衆国で開催されます。

ヤンマー株式会社はディフェンディングチャンピオンのBMW オラクルレーシングにレースで不可欠なチームの伴走艇のエンジン、およびドライブを提供するオ フィシャルテクニカルパートナー契約を締結しています。ちなみにジャパンチャレンジではヤマハ発動機のヨットが使われました。

8月23日 1913年コペンハーゲンで人魚姫の像が公開されました。

コペンハーゲン港の北東部ランゲルニエ地区にある岩の上に腰掛けた人魚姫の像は、もちろんデンマークの童話作家、アンデルセンの作品「人魚姫」をモチーフにしたブロンズ像です。コペンハーゲンのシンボルであり、観光名所としても有名です。大きさは高さ1メートル25センチ、重量は約175キログラム、有名な割には小さいです。

この人魚姫像は、1909年 バレエ「人魚姫」に感動したビール会社2代目社長のカール・ヤコブセンが彫刻家エドヴァルド・エリクセンに製作を依頼しました。人魚姫の顔は、そのバレエのプリマバレリーナのエレン・プリースを模し、裸身は彫刻家の妻をモデルにしているのだそうです。

童話では、腰から下が魚である人魚姫ですが、この像は足首のあたりにちょっと鰭がある感じです。エリクセンは妻の足があまりにも美しく、魚にするには忍びないと思ったからだそうです。この美しい足のもち主、エリクセンの妻エリーネ・エリクセンはE・H・エリック、岡田眞澄兄弟の伯母にあたります。

カール・ヤコブセンは、この像をコペンハーゲン市に寄贈しました。

しかし、この像、なかなかの受難続きのようで、赤やら緑やらのペンキで塗られたり、腕や首が切断されたり、壊されたり、裸が不謹慎？とばかりに下着を着せられたり、スカーフを被せられたり……。

倉敷には、かつてチボリ公園内にあった人魚姫の像が駅の広場に移設されています。コペンハーゲンの人魚姫の像より、一回り小さいものです。都会の片隅にうまく収まっていると言うべきか、あるべき場所を失って物悲しいというべきか……

アリオに行くときには、ちゃんと人魚姫に挨拶しておこう……。



8月24日 愛酒の日

「白玉の齒にしみとほる秋の夜の 酒はしづかに飲むべかりけり」の句がある、お酒と旅をこよなく愛した若山牧水の誕生日にちなみます。

早稲田大学文学部に在籍中は、同級生の北原射水（後の白秋）、中林蘇水と親交を厚くし、「早稲田の三水」と呼ばれました。石川啄木とも交友があり、その臨終にも立ち会ったそうです。

沼津の千本松原の景観に魅了され、移住までしています。静岡県が千本松原伐採を計画したときには、新聞に計画反対を寄稿するなどして反対運動の先頭に立ち、計画を中止させました。

旅が好きで、日本各地で歌を呼んでいるので、各地に歌碑があります。酒豪で、一日一升程度の酒を呑んでいたとかで、残念ながら死因も肝硬変だったそうです。

岡山には新見市哲西町大竹 に歌碑があります。1907年夏、早稲田大学在学中の牧水が、郷里宮崎への帰途花袋の「蒲団」の舞台となった新見市を訪ね

幾山河こえさりゆかば  
さびしさのはてなむ国ぞ  
けふも旅ゆく

と詠んだといわれます。

牧水の歌碑を訪ねて旅行するのも、楽しいかもしれません。そのついでに、地酒を楽しみながら……

8月25日 1906年日本十進分類法の生みの親、森清が生まれました。日本十進分類法って？と思われるかもしれませんが、図書館に行ったときに見かける 0 総記 1 哲学 2 歴史 3 社会科学…… という分類のことです。

大阪の紙製品を販売する家に生まれ、実業学校を卒業したのち、図書館用品を販売する間宮商店に入社しました。

間宮商店は、欧米の図書館学を中心とした書籍2,000冊を集めて「間宮文庫」と名づけて図書館員の研究に提供していました。森氏は、それを整理するためにアメリカで考えられたデューイ十進分類法に改良を加えた独自の分類法を考案しました。

それを1928年、後の「日本十進分類法」の元となる「和洋図書共用十進分類表法」として発表し、翌年間宮商店から「日本十進分類法」と改題して刊行しました。

それまで日本の図書館では各図書館でそれぞれ独自の図書分類法が用いられていましたが、森の分類法が帝国図書館を皮切りに、各地の図書館で採用されるようになりました。現在では公立図書館の99%、大学図書館の92%が日本十進分類法を採用しています。

森氏は本籍地が岡山なので、しばらくの間岡山で過ごしていた時期があります。

戦前に思想善導機関として機能した図書館の歴史を反省し、1954年に打ち出された「図書館の自由に関する宣言」の制定にも尽力しました。

8月26日 1988年長屋王家木簡が発見されました。

奈良市の奈良そごう建設予定地の発掘調査の結果、多くの木簡が出土し、そこが長屋王邸跡であることが分かりました。260m x 260mの広大な屋敷跡で、500人あまりの人が暮らしていたと考えられました。また出土した木簡の中に「長屋親王宮鮑大贄十編」があり、これが大いに世間を騒がせました。

この木簡から「長屋王」が「親王」と呼ばれたことが分りますが、「親王」とはいわゆる「皇太子」のことであり、父親が天皇でなければこの表記は使用されることはありません。

長屋王は「書紀」では「天武」の子供の「高市皇子」の長男で「高市皇子」は「即位」していないと伝えられていますから、本来は「親王」表記は該当しない人物です。

また、木簡に書かれている「大贄」とは「天皇」またはそれに準ずる立場の人物への飲食物を指す用語なのです。この言葉が「長屋王」に使われているのは、一体何を意味するのでしょうか。

出土された多くの木簡から、長屋王が今まで考えられていた以上に高い身分であったか、もしかしたら天皇に即位していないと言われていた「高市皇子」が実は天皇になっていたのではないかと、あらゆる憶測を呼んだのでした。

摂津の塩漬け鯨、伊豆の荒鯉、武蔵野国の菱の実、美濃の塩漬け鮎、越前の栗、阿波の猪、紀伊・讃岐の鯛、など全国から珍味が送られてきている様子や、氷室を持っていて夏には氷を食べていたらしいことも分かりました。長屋王の年収は今の価値では4億円にも相当すると考えられるそうです。

長屋王は684～729年に生きたと言われる人物です。「続日本紀」に長屋王の変が書かれていますが、政権が変わるたび正義も変わっているので、長屋王も傲慢な人物であったり、陰謀に貶められた清廉悲劇の王であったりします。まさに歴史のロマンです。

8月27日 1949年GHQが「第一次税制改革勧告文概要」(シャープ勧告)を発表しました。

コロンビア大学の財政学者C.S.シャープを団長とする税制調査団が、1949年8月27日と50年9月21日に連合軍最高司令官マッカーサーに提出した報告書で、第1次・第2次に分かれています。

戦争が終わった時、日本は著しいインフレで、経済活動も機能していないに等しく税収入も期待できない状況でした。戦時中に軍事予算を確保するために、税制が非常に複雑になっていました。

そこでGHQはカール・シャープというアメリカの財政学者を団長にした税制調査団に日本財政の状況の調査を依頼しました。シャープの報告書はそのまま日本政府に対する勧告として、そのまま日本税制に反映されました。

その勧告を受け、当時間接税が占める割合が高かったのを改め、直接税の割合を増やし、複雑だった税制を簡潔にし、地方税の強化、公平な課税に努めました。今でも当時の税制がそのままのものもあり、シャープ勧告は戦後日本の税制に大きな影響を与えたのでした。

カール・シャープ氏は、「世界で最も優れた税制を日本に構築する」と言って、税制改革に取り組んだそうです。日本以外にも1950年代にキューバ、ベネズエラ、リベリアの税制構築にも貢献し、またヨーロッパ諸国の付加価値税（日本で言う消費税）の導入にも重大な役割を果たしています。戦後、日本税制の生みの親ともいえる人物です。

8月28日 テレビCMの日

1953年8月28日日本最初の民間放送局の日本テレビが本放送を開始したのと同時に、テレビコマーシャルも放送されました。それを記念して、2005年日本民間放送連盟が制定しました。

初のテレビCMは服部時計店（精工舎）のもので、時間は30秒間「精工舎の時計が正午をお知らせいたします」というアナウンスが流れるはずでしたが、なんとフィルムを裏返しに入れて大失敗だったようです。

さぞかし緊張していたことでしょう。しかも時刻のお知らせですから、1秒の誤差も許されませんね。最初から、ずいぶんタイトな仕事を選んだものです。でも時報だけは正確に放送されたようです。

テレビCMのことは、ここでも期せずして書いた気がします。トリスウイスキー、高見山の丸八真綿、野坂昭如のウイスキー、ホンダのシティ……

子供の頃見ていたと言えは「ワワワ、ワが三つ」のミツワ石鹸、黒子さん白子さんのロゼッタ洗顔パスタ、「ゴホンといえは龍角散」「象が踏んでも壊れない筆箱」「大きいことはいいことだ」の森永エールチョコレート、「ケンとメリーのスカイライン」……

印象深い俳優さんと言えは、「オロナミンCドリンク」のめがねが落ちる大村昆とか「江戸むらさき」の三木のり平、富士フィルムの樹木希林……

CMは、15秒、30秒で商品説明をし、インパクトをあたえなければなりません。何十年経っても人々の心に残るCMというのは、スゴイのだらうと思います。

CMの歴史を調べながら、あの時代、こんなCMが流れていたな～なんて懐かしく思い出しました。まさにCMは時代を映す鏡です。

8月29日 1942年谷岡ヤスジが生まれました。

愛媛県宇和島市出身で、赤塚不二夫と並ぶ日本のギャグ漫画界の巨匠と言われましたが、1999年56歳の若さで

亡くなりました。

1970年、週刊少年マガジンに連載した「ヤスジのメッタメタガキ道講座』でブレイクし、以後、強烈なキャラクターとストーリーで独自の谷岡ワールドを築きました。「鼻血ブー」「アサー」のギャグは谷岡の作品で、一躍流行語になりました。

ちなみに「鼻血ブー」は「激しい勢いで鼻出血するさまを表現した語。とても興奮した、という意味合いで用いられることが多い」とは実用日本語表現辞典による解説です。

子供が調子によって「鼻血ブー」なんて言うと、大人たちは顔をしかめたものですが、1970年代というのは、こうしたハチャメチャなギャグやコントが好まれた時代だった気がします。

ドリフターズしかり、コント55号しかり、クレージーキャッツや「ゲバゲバ90分」

高度成長時代のモーレツ社員たちが、会社や社会に対する憂さを漫画を読みながら晴らしていたのかもしれませんが。当時の笑いには、遠慮がないし容赦がない。

最近の笑いは、遠慮しながら、考えながら笑わなければなりません。弱者に対する配慮とか、差別やDVに該当しないかとか。昔の笑いのはストレートだったからといって、案外、弱者に対する配慮は昔の方があつたりするんですよね……。

最近のドラマで「半沢直樹」が高視聴率を得ているのに似ているのかな？今の世の中は、出口の見えない閉塞した社会に対する憂さかもしれませんが……。

さて、お待たせいたしました。新店舗のオープンが決まりました。

8月31日（土）9月1日（日）をプレオープンとしまして、9月2日より本格オープンいたします。どうぞ、お誘い合わせの上お越しく下さい。お待ちしております。

8月30日 1941年金属類回収令公布が公布されました。

日中戦争から太平洋戦争にかけて、戦況が次第に悪化していき武器の生産に必要な金属類が不足する事態に、庶民が持っている金属類の回収を目的に制定された勅令です。

国内は9月1日より、朝鮮、台湾、樺太、南洋群島は10月1日より施行されました。

この時点では、まだ不要不急のもので出せるものがあれば回収しますと、廃品回収の感じでしたが、1943年に改正された時には強制的にかなりの金属を出すように言われたようです。

どんなものを供出したかといえば、マンホールの蓋、ベンチ、鉄柵、灰皿、火鉢、梵鐘や銅像、店の看板、鉄道の線路、また「家庭鋳脈」というキャッチコピーで、鉄びん・火箸・花器・仏具・窓格子等、金銀杯・時計側鎖・

煙管・置物・指輪・ネクタイピン・バック、箆笥の取手や蚊帳の吊り具、洗桶、コップ、水入器、匙、皿、杓子、洗面器、弁当箱、箸、フォークまでなど、日用品のありとあらゆる金属「家庭鉱脈」を掘り尽くしたのだそうです。

確か、あの通天閣も初代は金属回収で解体されたのでしたね。

戦時中のドラマでは、商売道具の金属を持って行かれそうになるのを必死で抵抗して「非国民」と言われたり、白い割烹着の愛国婦人会、国防人会の人たちが各戸を回って回収を呼びかけたるする場面が登場しますね。

そういえば！

祖母の嫁入り箆笥には、取っ手がなかったのを思い出しました。

古いものだから壊れているのは当たり前とっていましたが、確か不揃いの代用品で取っ手がつけられていました。もちろん戦後、それなりに修理したものだと思います。

それが可笑しいことに全部の取っ手じゃなくて、いくつかは残っていたのです。よく使う引き出しは取っ手がないと困りますし、せめてもの抵抗にいくつか残しておいたのでしょうか。

金属供出で取っ手を出したなんて考えたこともなかったな。

ところで、金属回収はイギリスやドイツ、イタリア、あのアメリカでさえ行っていたのだそうです。「竹槍」で戦おうとしたなんて、今から考えれば笑い話ですが、外国でも同じように農具や尖らせた棒で戦おうとした部隊もあったのだとか。

とんでもない時代でした。

8月31日 1994年、ジュリアナ東京が閉店しました。

ディスコ・ジュリアナ東京は、総合商社・日商岩井とイギリスのレジャー企業・ウェンブリーの共同出資により1991年5月31日に開店しました。

芝浦の倉庫地に総工費15億円。総面積千㎡、ダンスフロア160㎡、天井高8m、座席数500、最大収容人数2000人という最大規模のディスコで、最盛期には客が入りきらず一般客は4時間待ち、入店を断ることもあったそうです。

ジュリアナ東京なんて、行ったこともないけれども、ワンレン・ボディコンの女性がお立ち台に立ち、ジュリ扇を振り回して踊っていたらしいと噂に聞いていましたね。

男性はと言えばアルマーニのスーツにジャラジャラと金銀のブランドのアクササリーで身を固め、赤のフェラーリで乗り付けてくるのがカッコよかったのだとか・・・ うほ～

バブル景気の終末、最後のお祭り騒ぎのようです。当時の写真をみれば、かなり恥ずかしいですね。バブルって人間を狂わせていましたね。

一世を風靡したジュリアナ東京は3年ほどで閉店しています。音楽、ファッションのブームを創り世間に広く知られましたが、やはり時代が変わっていったということなのでしょう。

ジュリアナは閉店の話でしたが、おっちゃんは堅実に開店の運びとなりました！

お待たせいたしました。

プレオープンということで、本日と明日 新店舗にてお待ちしております。新しく店長を迎えて、おっちゃんとふたりで切り盛りいたします。焼き台も新しくなって、焼き具合を試してみましたが、初日は、まだ少しバタバタするかもしれませんが、ご容赦ください。

クリームは、何があるか・・・お楽しみに。